八雲町郷土資料館農機類標本台帳

一般名称: 荷物用馬橇、荷橇	現地の通称:

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
- ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☐ 耕耘用 ☐ 調製用
- ☒ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
- ☐ 原動機具 ☒ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
- ☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☒ その他

管理プレートNo.

台帳No. Y027

相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: 不明

製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

雪上の荷物運搬用ソリ。

雪上運搬のための橇は古くからあったと思われるが、明治維新にロシヤ型橇が輸入されて構造が明確となり、これを参考に札幌型(柴巻橇)と函館型(カナ橇)が発明された。

馬と橇を繋ぐ梶棒は、真っすぐで弾力性と反発力の強いヤチダモの細い丸太が使われる。橇を引く時に梶棒がないと下り坂で橇が凶器になるだけでなく、梶棒があっても装着法が悪いと轍(わだち)から外れて橇が転倒した場合や馬の暴走時に梶棒自身が凶器となり易いなどのため、梶棒の正しい取付け法を厳守すべきである。

利用経過収集記録意義等

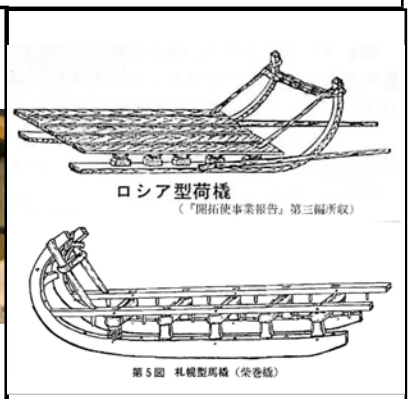
未調査

仕様書_解説等

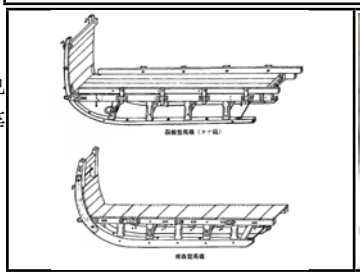
未調査

全体図1：標本
2：ロシヤ型と札幌(柴巻)型の荷橇
関連図1：函館(カナ)型と青森型の荷橇
2：札幌農学校標本の札幌型橇
隣は除雪具：ラッセル：三角
3：ロシヤ型輸入前の江戸農書が記載する橇、米俵の運搬作業
4：スター農機カタログが掲載する大庭氏のカット

右に全体図



外観特色関連図等



資料の所在: 展示場付属倉庫

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編